【広報さざんか２０１７年１２月号１面】

連載企画

地活協通信（ちかつきょうつうしん）

‘１４地域（とおり）のSTORY’

これまでも。これからも。

～vol.７　粉浜　地域のきずなの象徴〜運動会を今に引き継ぐ

　万葉の時代から「粉浜」と呼ばれていた海岸の名を由来に持つ粉浜地域は、住吉大社の門前町として栄えてきました。明治初期まで２つの村に分かれ、学校もそれぞれに作られていましたが、１８７７年にこの２校が統合し長尾小学校が創立。今の粉浜小学校と北粉浜小学校につながっています。当時ほとんどが畑の農村だった一帯は、その後の工業化の進展により宅地化が進み、大正時代の終わりごろには多くの住宅が建てられました。玄関先に水屋（台所）がある長屋住宅は当時としては斬新なもので、建築史上貴重なものとして粉浜１・２丁目にわずかながら今もその姿を留めています。

　集団疎開など戦時中の苦難を経て、迎えた敗戦。「戦争が終わって、暗くしているより、明るくしよう」と１９５０年に町会対抗の運動会が始まりました。戦後の、まだものが無い時代。鍋や皿などの日用品が景品だったそうです。写真は１９５９年。戦後の傷も少しずつ癒え、明るい時代を謳歌する様子がうかがえます。この運動会は今、「粉浜まつり」と名を変えずっと続いています。粉浜の皆さんは誇らしげにまちづくりに取り組んでいます。

さざんか粉浜活動協議会

久保道伸会長（写真中央）

●生まれも育ちも粉浜です。戦後のベビーブーム世代でとにかく子どもがいっぱい。小学校の頃なんて２０００人ぐらいいたから、先生も忙しくてやんちゃし放題（笑）。

　粉浜の初代青少年指導員として制度の創成期から活動し、今に至ります。粉浜で生まれ育ったから地域への思いは強いです。自分が「こうだ」と思う地域を実現したい。もっともっとまちを活性化しようといろんなアイデアが湧いてでてくる。周りのみんなが困るぐらい（笑）。

区青少年指導員連絡協議会　粉浜校下代表

中山隆嗣さん（写真左）

●平成１４年に粉浜に。その時、朝昼晩とどんなところか様子をみて回って、落ち着いた静かな環境と、たまたま見かけた盆踊りの雰囲気もよくて、ここならと思えました。青少年指導員になったきっかけは、町会の手伝いをしているうちに自然にそうなった感じです。

　次を担っていただきたい方に、この仕事のやりがいを伝えるのが難しい。大変そうと思う人は多いが、そうじゃないよ、本当にいい経験だよ、ということを伝えたい。

区子ども会育成連合協議会　粉浜校下代表

柴田千恵子さん（写真右）

●子どもが小学校にあがることをきっかけに粉浜に。その後高齢の母を呼び寄せることになり、すごく不安はあったのですが、このまちなら大丈夫だと思えたんです。

　子ども会役員を頼まれた時は、仕事をしていたから大変だったけど、「できる範囲で」と言っていただいて、あとはみんなに手伝ってもらいながらやりました。やがて手伝う側に回って長くやってます（笑）。

◆粉浜よさこい祭りやります！！

　現在は少子高齢化で町会対抗の運動会は難しくなったので、模擬店や子どもが楽しめるウォークラリーなどを取り入れた粉浜まつりとして模様替え。毎年３５００人が参加しています。次は商店街を盛り上げようと、よさこい祭りを計画しました。春にやりますのでぜひご参加ください！

粉浜まつり開会式の様子

各地活協では、平成３０年度事業計画の策定が始まっています！

　大阪市では、地活協（※地域活動協議会。下記の説明も併せてご覧ください。）が担う役割の性質から「準行政的機能を有する団体」と位置づけ、財政的な支援（補助金の交付）を行っています。

　各地活協は、この補助金を地域課題の解決やまちづくりに有効に活用するため、盆踊り等のイベントやふれあい喫茶をはじめとする見守り活動等、次年度の取組みを計画します。これが事業計画です。

　事業計画は、各地域のさまざまな団体から選出された運営委員の皆さまで話し合い、さまざまな意見を取り入れながら策定される、来年度の地域活動内容を決めるとても重要なものです。

　各地活協のこれまでの事業計画や事業報告は、区役所のホームページや各地域の広報紙等にも掲載されています。

　お住まいの地域でどのような地域活動が実施されているかご興味のある方はぜひご覧ください。

【問合せ】住之江区まちづくりセンター

電話６６５４－５０１７

地域の行事など各地域活動協議会のことはこちら

→<http://www.saza73.jp/suminoe-machisen/chikatukyo.html>

地活協とは

地域活動協議会の略称。地域活動協議会は、おおむね小学校区単位で、連合町会やPTA等のさまざまな団体が皆で一緒にまちづくりに取り組んでいくための仕組みです。

住之江区の地活協は、「○○地域活動協議会」、「さざんか○○協議会」の名称で活動しています。

【広報さざんか２０１７年１２月号２面】

住之江区の健康づくり団体を紹介します！！

　住之江区の健康づくり団体は住之江区食生活改善推進員協議会、住之江区健康づくり推進協議会「松の会」、すみれ会の３つの団体があります。

　　区役所では３つの団体と協働で区民の皆さんの健康づくりを進めています。

住之江区食生活改善推進員協議会

　昭和５２年に保健栄養学級（現　健康講座保健栄養コース）修了者より組織されました。食事は、健康づくりの基本です。お子さんから、成人、高齢者までさまざまな方を対象とする料理教室等を通して普及啓発活動を行っています。

男性の料理講座

まる得健診体験型食育ブース

住之江区健康づくり推進協議会「松の会」

　昭和６２年６月、家庭看護講座（現　健康づくり展げる講座）の修了者の有志より発足しました。自分自身の健康づくりはもとより健康なまちづくりをめざして、介護予防や健康づくりの知識や技術の普及のための健康講座を共催開催するなどの普及活動を行っています。

３B体操講習会

まる得健診体力測定コーナー

住之江区健康づくり推進協議会　松の会の写真

すみれ会

　平成２年に生活習慣改善指導教室の修了者の有志による活動が始まりました。日常生活の中に運動を取り入れ、生活習慣病の予防、健康増進を図ること及び健康づくりの普及を目的として、活動しています。

演歌ビクス体操

まる得健診ロコモ度チェック

すみれ会

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

防災　防犯コラム

　年末年始は忙しい日々が続きますが、防犯対策は万全ですか？

この時期は、出費がかさむ時期でもあり、多額のお金を用意している家庭も少なくないでしょう。

　また、帰省や旅行などで家を留守にしがちです。

犯罪者が見逃すわけがありません。

　犯罪者もお金を必要としている時期なのです！

銀行帰りのひったくり、忘年会帰りを狙った路上強盗、

留守を狙った空き巣、初詣など人ごみを狙ったスリ。

より一層高い防犯意識を持って対策することが必要です！

　また、季節柄、暖房器具などで火を使う機会が増え、さらに、何かと忙しいため火に対する注意がおろそかになりがちです。

　火事にならないよう火の取り扱いには、十分気をつけましょう。

問合先　区協働まちづくり課　窓口㊸番　電話６６８２－９９７５

認知症高齢者支援ネットワーク連絡会

無料　申込不要

区民啓発　映画会・講演会

　住之江区では、認知症になっても、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らせる社会をめざし、さまざまな活動を行っています。

　認知症を正しく理解していただくために、映画会・講演会を実施します。

　ぜひご参加ください。

日時　１２月１６日（土曜日）１３時３０分～１６時

場所　すみのえ舞昆ホール（住之江区役所２階）

内容　第１部　映画会「毎日がアルツハイマー」

第２部　講演会「身近な人が認知症になったら」

講師　久堀　たもつ先生（住之江区医師会）

対象　区内で認知症の支援をしている関係者の方、区民の方

定員　３００名

問合せ　安立　しきつうら地域包括支援センター　電話６６８３－６６５０

加賀屋　粉浜地域包括支援センター　　　電話７６７０－１７７７

万博とわたし

住之江区役所　協働まちづくり課長　折原　裕之

　港湾局に在職中は、廃棄物の処分などによって新しく生まれた埋立地への企業誘致を通じ、夢洲のまちづくりに携わっていました。夢洲は約４００ヘクタールと広大で、大阪の最後のフロンティアとして、計画的に土地利用を進める必要があります。

　２０２５年の万国博覧会の開催を契機として、夢洲が未来へ輝く夢のまちとして発展し、隣接する住之江区をはじめとした湾岸エリアの魅力がさらに向上すること期待しています。

【広報さざんか２０１７年１２月号３・４面】

今月のお知らせ

市民活動に関する相談窓口のご案内

　市民活動に関心のある方、NPOなどの団体、企業の皆さまを対象に市民活動に関する相談窓口を設置しました。これから市民活動を始めようとお考えの方、活動はしているけれども運営方法等でお悩みの方は、お問い合わせください。市民活動に役立つ情報のご紹介や各種相談窓口をご案内します。

問合せ

区協働まちづくり課　窓口㊸番

電話６６８２－９７３４

URL <http://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000414671.html>

LGBTをご存じですか？

LGBTとは

・L（レズビアン）：女性を恋愛や性愛の対象とする女性

・G（ゲイ）：男性を恋愛や性愛の対象とする男性

・B（バイセクシュアル）：男女どちらにも恋愛や性愛の対象が向く人

・T（トランスジェンダー）：出生時の体の性別とは異なる性別を生きる／生きたいと望む人

　大阪市では、性別に関係なく、だれもがありのまま受け入れられ、自分らしく生きることができる社会をめざし、性の多様性及びLGBTなどの性的少数者に対する理解を進め、偏見や差別を解消する取組みや、LGBTなどの性的少数者に配慮した取組みを積極的に推進します。

問合せ

区協働まちづくり課　窓口㊸番

電話６６８２－９８３２

住之江区成人の日記念のつどいを開催します

　新成人の方をお祝いする記念のつどいを開催します。お友達とお誘いあわせのうえ、多数ご参加ください。

日時　１月８日（月・祝）

　　　（受付）９：３０〜　（開会）１０：３０〜

場所　府咲洲庁舎１階フェスパ（ニュートラム「トレードセンター前」駅もしくは「中ふ頭」駅下車）

内容　第１部　式典　第２部　アトラクション（ミニコンサート、ビンゴゲーム）

対象　平成９年（１９９７年）４月２日〜平成１０年（１９９８年）４月１日生まれの方

問合せ

区協働まちづくり課　窓口㊸番

電話６６８２－９８３２

区役所での広告事業のご案内

　住之江区役所では、広報紙「さざんか」掲載広告やホームページ（トップページ）バナー広告、パンフレットラック広告など、さまざまな広告事業を行っています。広告掲載について、ご質問などございましたら、下記担当までお気軽にお問い合わせください。

　また、区ホームページにも詳細を掲載していますので、こちらもあわせてご覧ください。

広報紙「さざんか」掲載広告（２種枠）

パンフレットラック広告

問合せ

広報紙・バナー広告…

区総務課（企画）　窓口㊷番　電話６６８２－９９４７

その他広告…

区総務課（総務）　窓口㊶番　電話６６８２－９９０３

区ホームページをリニューアルしました！

　よく検索されるキーワードや地域の情報をトップページから検索できるようになりました！デザインも一新しましたので、ぜひご覧ください！

問合せ

区総務課（企画）　窓口㊷番

電話６６８２－９９４７

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

子育て情報

子育て支援室のわくわく子育て

子育てに関するご相談は、お気軽に子育て支援室をご利用ください

◎親子は鏡のような関係です

　１２月になると大掃除などすることが沢山あり、何かと慌しい毎日ですね。そして、やっと迎えた新年に交わす挨拶での子どもの可愛いエピソードを紹介します。「あけましておめでとう」の挨拶を誕生祝いと間違え「ありがとう」という言葉が返ってくることが時折あります。微笑ましい姿で子どもなりに考えて答えてくれるのですが、もしかすると、新年の挨拶を家庭ではあまり耳にしなかったのかなと感じます。親は子に「返事をしない」や「挨拶をしない」と愚痴ることがあるでしょう。けれど、振り返ってみてください。自身は声をかけられた時「はい」と返事をしていますか？顔見知りの方やどこか訪問の際「こんにちは」など、元気に挨拶をしていますか？返事や挨拶だけでなく子どもは、親の姿をよく見ています。この時期は、１年を振り返ることも多いかと思います。そんな時「自身の姿」も振り返ってみてはどうでしょう。子育ての悩みにつながる何かヒントが見つかるかもしれませんよ。

問合せ　区保健福祉課　窓口③番　電話６６８２－９８７８・９８８０（子育て支援室）

【広報さざんか２０１７年１２月号５面】

催し

毎月第２・４火曜日１８：００〜

「南港サンセット．ｔｖ」配信中！！

　住之江区のさまざまな情報をATC南港サンセットホールからユーストリームで公開生配信！

　観覧無料ですのでぜひ遊びにきてください！

【配信場所】ＡＴＣ南港サンセットホール（ＩＴＭ棟１０階）

（アーカイブでもご覧いただけます）

問合せ＝　区総務課（企画）　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

URL [http://www.ustream.tv/channel/atcsunset](%20http://www.ustream.tv/channel/atcsunset)

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

ATCチケットプレゼント！

プラレール博　in　OSAKA

〜プラレールがいっぱい！ミュージアムに出発進行！！〜

５組

１０名様

ⒸTOMY

Ⓒ２０１７　Gullane（Thomas）Limited.

日時　１月１日（月・祝）〜８日（月・祝）１０：００〜１６：３０（最終入場１６：００）

場所　大阪南港ATCホール

入場券　大人（中学生以上）　　前売券：７００円（当日券９００円）

子ども（３歳〜小学生）前売券：５００円（当日券７００円）　※税込金額　※２歳以下は入場無料

※プレゼントするチケットに、入場記念品は含まれません。

イベント内容の問合せ　プラレール博　in　OSAKA　事務局　電話６３２５－５７７７（平日１０：００〜１６：３０/土日祝日は除く）

応募方法

ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号のほか、下記の設問からお答えください。

設問Ａ　どのようなイベントに興味がありますか？

　①お祭りなどの伝統行事　②バルなどのグルメ　③音楽　④スポーツ　⑤アート　⑥その他

設問B　住之江区からの広報紙やＳＮＳを使った情報発信に一番何を求めますか？

①情報量　②頻度　③写真や動画　④色使いやイラスト　⑤面白さ　⑥その他

応募先　〒５５９－８６０１　御崎３－１－１７　住之江区役所　総務課（企画）　窓口㊷番

「さざんか１２月号チケットプレゼント」係

応募締切　１２月２２日（金）当日消印有効　※発表は発送をもってかえさせていただきます。

チケットプレゼントの問合せ＝区総務課（企画）　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

URL <http://www.atc-co.com/event/001506/>

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

セレッソ大阪を応援しよう！

住之江区出身「丸橋選手の等身大パネル」をプレゼント！

１名様

【ご留意事項】

・区役所内きずなステーション前で、１年間展示していたものです。汚れ少しあり。

・高さ１８０cm程度　・材質は発泡スチロール

・区役所ではプレゼントのお渡しのみになりますので、当選者の方はご来庁いただき、ご自宅等へのお持ち帰りは、ご自身でお願いいたします。

【応募方法】

ハガキに、住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえ、下記へお申込みください。

※ご当選された方には当選のご連絡と留意事項を確認させていただくためにお電話を差し上げますので、日中も連絡のとれる電話番号をご記入ください。

【応募先】〒５５９－８６０１　御崎３－１－１７　区総務課（企画）

「丸橋祐介選手　等身大パネルプレゼント」係

【応募締切】１２月２２日（金）当日消印有効

＊当選者の方への通知をもって発表にかえさせていただきます。

問合せ

＜等身大パネルについて＞

区総務課（企画）　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

【広報さざんか２０１７年１２月号６面】

健康情報

健康ワンポイント！

知っていますか？

HIV/（AIDSエイズ）のこと

〜１２月１日は「世界エイズデー」〜

　エイズは１９８１年に最初の症例が報告されました。それから約３５年経ちますが、日本でのHIV感染者・エイズ患者数は増え続けています。２０１６年の国内における新たなHIV感染者は１,００３人、エイズ患者は４３７人、大阪市では新たにHIV感染者１１９人、エイズ患者３１人が報告されています。

　エイズを他人事と思わず、正しい知識を持ち、行動することが大切です。

◆HIVに感染すると、ゆっくり時間をかけてウイルスが増え、体を病気から守る免疫力を低下させて、さまざまな病気にかかりやすくなります。このような状態をエイズといいます。

　HIVを体内から完全になくす方法は見つかっていませんが、新しい治療薬の開発等により、治療を受けることでエイズの発症を遅らせることが可能になってきており、エイズ発症後の治療も進んできています。

◆HIV感染の予防をするために

　HIVの主な感染経路は性的接触で、他に血液感染、母子感染があります。正しくコンドームを使用することが大切です。

◆検査

　大阪市では市内３か所（北区、中央区、淀川区）の区役所（保健福祉センター）及びその他の場所で、匿名・無料でHIV検査を実施しています。

ＨＩＶ検査と一緒に性感染症の検査もできます！

◆梅毒が急増！！

　近年梅毒患者が急増しており、２０代女性患者の割合が増加しています。妊婦に感染があるとお腹の赤ちゃんに症状や障がいが出ることがあります。

５００

４００

３００

２００

１００

０

平成２２年

３

３９

平成２３年

３

５４

平成２４年

１０

５５

平成２５年

５

１１０

平成２６年

１４

１８２

平成２７年

６７

１８６

平成２８年

１６５

３０２

女

男

◆症状が出にくい！クラミジア感染症

　若い年代に多く、ほとんどの人は症状がありません。のどにも感染します。不妊症の原因となることがあります。

問合せ　区保健福祉課（地域保健活動）　窓口㉛番　電話６６８２－９９６８

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

各種健診・予防接種のお知らせ

予約 種別・費用 実施日時（受付時間）・場所 対象（大阪市民で）

要 胃がん検診（胃部Ｘ線撮影）５００円 １２月１０日（日）９：３０～１０：３０分館　１月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の方　※かく痰検査は５０歳以上でハイリスク対象者のみ

要 大腸がん検診（便潜血検査）３００円 １２月１０日（日）９：３０～１０：３０分館　１月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の方　※かく痰検査は５０歳以上でハイリスク対象者のみ

要 肺がん検診（胸部X線撮影・かく痰検査）無料（かく痰検査は４００円） １２月１０日（日）９：３０～１０：３０分館　１月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の方　※かく痰検査は５０歳以上でハイリスク対象者のみ

要 乳がん検診（マンモグラフィ検査）１,５００円 １月１５日（月）９：３０～１０：３０分館 ４０歳以上の女性で隔年受診（昭和・大正偶数年生まれ）

要 肝炎ウイルス検査（Ｂ型・Ｃ型）無料 １月２６日（金）１０：００～１１：００分館　２月２日（金）１０：００～１１：００分館　３月２日（金）１０：００～１１：００分館 ２０歳以上の感染不安がある方

要 風しん抗体検査　無料 １２月１４日（木）１５：００～１６：００分館　１月１８日（木）１５：００～１６：００分館　１月２６日（金）１０：００～１１：００分館 妊娠を希望する女性または妊娠を希望する女性の配偶者（妊婦の配偶者を含む）　※検査には条件がありますので、お問い合わせください。

不要 特定健康診査　無料 １２月１０日（日）９：３０～１１：００分館　１月２４日（水）９：３０～１１：００分館 大阪市国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入の方（４０歳以上）

不要 歯科健康相談　無料 １月２４日（水）９：３０～１０：３０分館 １８歳以上の方

不要 ＢＣＧ接種　無料 １２月２０日（水）１３：３０～１４：３０分館　１月２４日（水）１３：３０～１４：３０分館　２月２１日（水）１３：３０～１４：３０分館 生後５～８か月未満の方

不要 結核健診（胸部X線撮影）無料 １月２６日（金）１０：００～１１：００分館　２月２日（金）１０：００～１１：００分館　３月２日（金）１０：００～１１：００分館 １５歳以上の方

予約・問合せ　区保健福祉課（健康支援）　窓口㉛番　電話６６８２－９８８２

場　所

分館＝区保健福祉センター分館（浜口東３－５－１６）

　　　区役所から徒歩５分

各会場へは、公共交通機関をご利用いただき、ご来場くださいますようお願いいたします。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

母親教室　無料　申込不要

日　時　１２月１１日（月）・１８日（月）、２月２６日（月）１３：３０〜１５：３０

内　容　お話しや実習、交流会

　　　　３回コース（１８日は「妊婦歯科健診」併設）

対　象　４月頃出産予定の方（３月予定以前の未受講の方）

赤ちゃん交流会　無料　申込不要

日　時　１２月１８日（月）１３：３０〜１５：００

内　容　情報交換と交流会、育児相談

対　象　１〜３か月のお子さんと保護者

こころの健康相談　無料　要申込み

日　時　１２月１８日（月）、１月１１日（木）１４：００～

内　容　専門医による精神保健相談

対　象　すべての方

場　所　区保健福祉センター分館２階

問合せ　区保健福祉課（地域保健活動）　窓口㉛番　電話６６８２－９９６８

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

各種相談

★は要予約

各種相談はすべて無料・秘密厳守です。

実施日時（受付時間） 場所 問合せ

弁護士による法律相談★ １２月５日（火）、１２日（火）、２６日（火）、１月９日（火）１３：００〜１７：００　定員１６名※２６日は２４名 区役所４階相談室 当日９：００～電話予約（先着順）　区総務課　窓口㊷番　予約電話番号　電話６６８２－９６８３

行政相談 １２月１９日（火）１３：００〜１６：００（１５：００受付終了） 区役所４階相談室 区総務課　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

司法書士による法律相談 １２月１８日（月）１３：００〜１６：００（１５：３０受付終了）　定員６名（先着順） 区役所４階相談室 区総務課　窓口㊷番　電話６６８２－９６８３

ひとり親家庭相談★ 毎週水曜・木曜９：１５〜１７：３０（年末年始・祝日除く） 区役所１階　保健福祉課 区保健福祉課　窓口③番　予約電話番号　電話６６８２－９８５７

【広報さざんか２０１７年１２月号７面】

教えて！住之江区の在宅医療

西原区長

　高齢化が急速に進んでいる中、住之江区では高齢者の方が住み慣れた地域のご自宅で自分らしい暮らしが続けられるよう、在宅医療や介護の専門職が連携できる体制の充実に取り組んでいます。大阪市では区医師会に委託し、医療・介護の関係者の相談窓口を開設し、在宅医療が円滑に進むよう連携調整や情報提供などの支援を行っています。区民の皆さんに、安心して在宅医療を選んでいただけるよう、在宅医療に関わる専門職の皆さんの思いや患者さんの声をご紹介します。

医師会

住之江区医師会

中島　静一　先生

皆さんの「おうち」はどこですか？

　在宅医療のイメージをお聞きすると、「介護する人が大変だ」「家族や周囲の手を煩わせたくない」などのお声を耳にします。しかし、その本人さんの本当の気持ちはどうなんでしょう？「おうち」に帰りたい。ごく普通の人間の気持ちです。旅行も「帰るところ」があるから楽しいのであって、一生入院していたい人は少ないと思います。でも病院や施設から『在宅は無理』と言われて在宅生活をあきらめている方も大勢おられます。

　決して病院や施設でなければ「医療」を受けられないわけではありません。自宅で医療を受けられる方も実際増えました。往診をしている診療所も区内に多くあります。もし「本当は『おうち』に帰りたい、帰してあげたい」という気持ちがあれば、個々に合った在宅での最高の組み合わせを作ることが可能です。かかりつけの先生や、地域包括支援センターに相談してみましょう。周囲の方が叶えられる数少ない恩返しになるかもしれません。

患者さんの声

■家だとゆっくり時間をかけて診てもらえるので安心感があります。自分のペースで生活できるのがうれしいです。最初は対応が遅いかもと心配しましたが、往診、訪問看護師さん、薬剤師さんとも対応は早く、安心です。

患者さん宅にて中島Dr.、看護師、薬剤師、看護スタッフの皆さんと

歯科医師会

住之江区歯科医師会

加納　康行　先生

訪問歯科診療で口腔ケア！

　歯が痛い・入れ歯が合っていないなどお口の悩みがある、また口腔ケアを受けたいという方で通院が困難な場合には、歯科医がおうかがいする訪問診療サービスがあります。お口の健康を保ち、食事をしっかりとる事は体調の維持・改善にとても重要です。また、おいしく好きなものを食べる事は楽しみの一つにもなりますので、ぜひ、かかりつけの先生または住之江区歯科医師会在宅歯科ケアステーション（電話６６８２－１８０１）にご相談ください。

患者さんの声

■高齢と病気（脳梗塞後遺症）のため、食べ物が飲みこみにくくなる、初期の摂食嚥下（えんげ）障害を起こしています。誤嚥（ごえん）性肺炎防止のため週に１回歯科の先生と歯科衛生士さんに自宅に来ていただき、楽しみながら色々なトレーニングをしております。

■歯医者さんの往診など、最初は考えられませんでしたが、歯科の先生と歯科衛生士さんが、機械器具を持参され自宅まできていただきました。おかげさまで虫歯の痛みから解放され、私のみならず家族の者も喜んでおります。

薬剤師会

住之江区薬剤師会

木村　昌弘　先生

かかりつけ薬局にご相談を！

　在宅医療における薬剤師の役割は、薬をきちんとチェックし使用する際に間違いや危険がないように管理することです。

　具体的には、お薬をすべて朝・昼・夕などの飲む時間ごとに分けることや服用カレンダーを利用することで飲み忘れを減らし、残薬の確認など服薬状況を正しく把握しています。

　また単にお薬の管理だけでなく別々の医療機関で処方されたお薬の重複や相互作用のチェックを行い、お薬の効果や副作用による体調の変化を捉え、医師・歯科医師・看護師・ケアマネジャーと連携することで、適切な薬物療法をめざします。

患者さんの声

■１日１回２錠飲む薬を自己判断で２回（朝夕食後）に分けて飲んでいたところ、一度に飲まないと効果が減弱するものがあることや、抗菌薬の中には一緒に飲んではいけない薬があることなど教えていただき助かりました。

服用カレンダー

住之江区訪問看護

事業者連絡会　看護師

日野　広美　さん

訪問看護って？

　訪問看護とは、病気や障がいがあっても在宅で療養生活が送られるようにサポートするサービスです。主治医の指示に基づき看護師がご自宅を訪問し、必要な医療処置・医療機器の管理（在宅酸素、人工呼吸器、点滴など）・身体を拭く・洗髪・服薬管理・リハビリ・緊急時の対応・看取りの支援・介護者さまの相談など、主治医やケアマネジャーその他関係事業所と連携した支援で安心を提供します。

住之江区栄養士協議会

管理栄養士

田貝　泉　さん

訪問栄養指導って？

　「最近急に痩せた」「飲み込む時に咳込む」「どんな食事がいいか分からない」「食事の準備が負担」など栄養に関する悩みはございませんか？そんな時は、管理栄養士にお任せください。通院が困難でもご自宅や施設に出向き、医師・ケアマネジャー・ヘルパーなどと連携しながら栄養状態や身体状況のチェック、調理指導、食べやすい食事や栄養補助食品等のアドバイスをいたします。住み慣れた地域で過ごせるよう一緒に考えてみましょう。

大阪介護支援専門員協会

住之江区支部　ケアマネジャー

木之下　洋子　さん

ケアマネジャーって？

　病気やけがで病院へ入院し退院後の不安がある、またはおうちで療養したいがどうしたらいいかわからない場合、ケアマネジャーがご相談にのります。安心してご自宅で療養できるようにかかりつけ医と連携します。相談の内容や身体の状況にあわせて、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、看護師さんやベッドや車いす、ヘルパーさんの手配等、その方にあった自宅での療養生活の方法を提案し応援します。

高齢者の皆さまのくらしや介護の相談は、地域包括支援センターもしくは総合相談窓口（ブランチ）へお気軽にご相談ください

担当地域（地活協）名 問合せ

住吉川・住之江・清江・新北島※・平林※ 住之江区地域包括支援センター　電話６６８６－２２３５

住吉川・住之江・清江・新北島※・平林※ 新北島ブランチ（豊泉家）　電話６６８３－４３２１

南港緑・南港渚・南港光※・南港桜※ さきしま地域包括支援センター　電話６５６９－６１００

南港緑・南港渚・南港光※・南港桜※ 南港北ブランチ（きのみ）　電話６６１２－９９８８

安立・敷津浦 安立・敷津浦地域包括支援センター　電話６６８３－６６５０

粉浜・北粉浜・加賀屋※・加賀屋東※ 加賀屋・粉浜地域包括支援センター　電話７６７０－１７７７

粉浜・北粉浜・加賀屋※・加賀屋東※ 加賀屋ブランチ（ブルーム北加賀屋）　電話６６８２－２９４１

※の地域はブランチも担当しています

問合せ　区保健福祉課　窓口㉛番　電話６６８２－９８８２

【広報さざんか２０１７年１１月号８・９面】

すみのえ南港　光のWonder Land　ワンダーランド

１２月２３日（土・祝）・２４日（日）開催！

住之江区役所

　“大阪の夜を彩る光のミュージアム”をテーマに開催している『大阪・光の饗宴』。その光の輪の広がりとして住之江区役所では地域や大学・専門学校、企業、行政が連携し、南港・咲洲地域の活性化をめざして、今年も『すみのえ・南港　光のワンダーランド』を開催します！

　光と音が奏でる「クリスマスライティングショー＆特殊効果花火２０１７」を中心としたさまざまなコンテンツで皆さまに心暖まるひとときをお届けします。

　皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

大阪市住之江区役所総務課　栗谷課長

交通局

Q　企画者としてこのイベントに関する思いは？

A　ニュートラム沿線である南港・咲洲地域の冬を盛り上げたいと思い、このイベントに参画しています。地域や商業施設、各大学・専門学校、交通事業者が一体となって企画し、来場者の皆さまに楽しんでいただきたいと思っています。ぜひ、ご来場ください。

Q　来場者の皆さまにぜひ見てもらいたいポイントは？

A　迫力ある音楽とそれに合わせて繰り広げられるライティングショーは勿論のこと、特殊効果花火より少し早めに来場いただけると、港に沈む美しい夕日をご覧いただけます。夜に開催される光の饗宴だけでなく、夕日に彩られたロマンティックな南港・咲洲地域も楽しんでいただければと思います。

Q　ニュートラムの魅力は？

A　平成２８年６月末より順次運行を開始している新型ニュートラムの外観は「街中を笑顔で走り回る子ども」をイメージした造りとなっており、車内もかわいいデザインとなっています。車内にはよつばのクローバーやハートマークが隠れているので、ぜひ見つけてみてください。

また、１２月８日から２５日まで、イルミネーションを施したニュートラムを１列車運行予定です。普段では見られない光り輝く車両でイベントにひと花（光）を添え、沿線地域を盛り上げていきたいと思っていますので、ご期待ください。

Q　来場者の皆さまへ一言

A　少し寒いですが、暖かい格好をしてお越しください。皆さまにとって今年の冬の良い思い出になれば企画者として、とても嬉しく思います。

大阪市交通局営業企画課　増田課長

ATC

Q　南港・咲洲地域の良い所は？

A　一年を通じて開催される多彩なイベントでにぎわっている地域です。一方で静かな海にも親しめるベイサイドという一面も持っており、イベントの後はのんびりと海を眺めて食事も楽しめる、非日常的なひとときを味わえるのが魅力です。

Q　今回のイベントのこだわりポイントは？

A　毎年テーマが変わるATCオリジナルのツリー。今年は北米のダウンタウンに輝くクリスマスツリーが登場します！ステージの前は摩天楼（ビル）の屋上をイメージしており、街並みや海を見下ろすようなシーンを撮影できるフォトスポットとしてもお楽しみいただけます！

Q　今回のイベントの見どころは？

A　楽しみながら、子どもの表現力・コミュニケーション力・社会力を育てる「ATCクリスマス子どもミュージカル」。毎年、参加者さまから大好評をいただき、今年５回目の開催が決定しました！！

年齢や興味、経験に応じた形で参加でき、≪誰もが主役になれるイベント≫です。練習は、本番当日を含めたったの２日間。充実の内容で、初めて参加する子どもでも、表現する楽しさを存分に知ることができます。クリスマスは、子ども達が作り上げる特別なステージをぜひご覧ください。

Q　来場者の皆さまへ一言

A　ベイサイド空間で光と音のショーを楽しめるのは、「すみのえ・南港　光のワンダーランド」ならでは。大切なひとと特別な時間をお過ごしいただければと思います。

ATC　販促宣伝担当　重村課長　奥田係長

さざんか花の町協議会

冬の夜空を彩る特殊効果花火！イルミネーションの光と一体となった幻想的な美しさをご覧いただけます。皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

森ノ宮医療大学

ATC近くの森ノ宮医療大学で過ごしています。見慣れた姿とは異なり、イルミネーションの魅力が満載です。ご家族やお友達と南港・咲洲地域を楽しんでください！！

相愛大学

光のワンダーランドが実施されるATCと同じく住之江区南港にキャンパスを構える相愛大学。わたしたちも音楽などを通じてこのイベントを盛り上げます！！

大阪エンタテインメントデザイン専門学校

約２０万球のLED電球とクリスマスミュージックが彩るシーサイドクリスマス。ここでしか見ることのできない光のイリュージョンをぜひご覧ください！

Scheduleスケジュール

■クリスマスライティングショー＆特殊効果花火（予定）

　１２月２３日（土・祝）、２４日（日）１８：３０～　両日とも１０分間程度。荒天中止

■第５回ATCクリスマス子どもミュージカル

　公演日：１２月２４日（日）１６：００～１７：３０

■光の回廊（クリスマスバージョン）　～１２月２５日（月）まで

■ＡＴＣオリジナルクリスマスツリー　～１２月２５日（月）まで

■光の回廊（通常版）連日点灯１２月２６日（火）以降

ATCへのアクセス

ニュートラム南港ポートタウン線

「トレードセンター前」駅直結

問合せ

すみのえ・南港　光のワンダーランド実行委員会

ATC（アジア太平洋トレードセンター株式会社）　電話６６１５－５２３０

区総務課（企画）　窓口㊷番　電話６６８２－９９９２

URL <http://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/suminoe/0000415637.html>

※イベントは予告なく変更・中止になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

※一部有料のイベントがあります。　※写真はイメージです。

【広報さざんか２０１７年１２月号特集１面】

地域活動“きっかけがあれば”

問合せ　区　協働まちづくり課　電話６６８２－９７３４　FAX６６８６－２０４０

目　次

特集

地域活動

”きっかけがあれば〟

１１～１３　おおさか掲示板

・

１０　施設からのお知らせ

・

８〜９　光のワンダーランド

・

７　在宅医療連携

・

６　健康情報／各種相談

・

５　催し

・

４　今月のお知らせ／

子育て情報

・

３　今月のお知らせ

・

２　すみのえトピックス

・

１　連載企画　地活協通信（ちかつきょうつうしん）

～ＶＯＬ.７　粉浜～

お知らせ（最終面より）

編集／発行

　住之江区役所　総務課

　〒５５９－８６０１

　大阪市住之江区御崎３丁目１番１７号

　電話６６８２－９９４７

　FAX６６８６－２０４０

区役所開庁時間

　月曜～木曜

　９時～１７時３０分

　金曜

　９時～１９時

　　（ただし１７時３０分以降は一部窓口のみ）

　毎月第４日曜

　　９時～１７時３０分（一部窓口のみ）

【広報さざんか２０１７年１２月号特集２面】

地域活動への参加〝きっかけ〟があれば！?

実は！！

皆さんのくらしに

欠かせない地域活動

　住之江区では、すべての人々が活き活きと幸せに暮らせるよう地域活動協議会や連合町会、PTAや青少年指導員など各種団体の皆さんによって、お祭りや運動会などの文化・スポーツ活動をはじめ、高齢者の見守りや居場所づくりなどの福祉・健康活動、防災訓練やパトロールなどの防災・防犯活動などさまざまな地域活動が行われています。これらの活動は、皆さんの暮らしに欠かせない役割を担っています。その一方、活動内容が充分に知られていないことやライフスタイルの変化などから参加する層が固定化しているなどの課題があります。

でも…

地域活動って「内容がよくわからない」

「きっかけがない」？？

　平成２８年度区民モニターアンケートでは「地域活動に参加している」と答えた方が、２０・６％で、残りの７９・４％の方が参加されていないこと、「地域活動の内容がよくわからない」「きっかけがない」がその理由の半数以上であることが明らかになっています。

そこで！！

「知ってもらう」「きっかけになる」ことをめざして

〝防災ママカフェ〟＆〝防災パーティ〟を開催しました。

　若い世代は仕事や子育てに忙しく、ともすれば地域とのかかわりも薄れがち。そんな若い世代にとっても、「防災」は関心の高いテーマでは？一方避難所を運営する立場の地域の方々にとっても、若い世代とつながりをもちたい。防災ならこの両者をつなげる「きっかけ」のひとつになるのでは？と〝防災ママカフェ〟＆〝防災パーティ〟を企画、９月７日と９月１９日の２日間にわたって開催しました。

【質問１】あなたは、地域活動※に参加していますか？

※ここでは、身近な地域の社会環境をよくするために、市民や地域の各種団体、ＮＰＯ法人、ボランティア団体、事業者などが地域を中心に取り組む公益的な活動のことをいいます。

❶はい ２０.６％

❷いいえ ７９.４％

２０.６％

７９.４％

０.０％

１０.０％

２０.０％

３０.０％

４０.０％

５０.０％

６０.０％

７０.０％

８０.０％

９０.０％

【質問２】（質問１で「いいえ」と回答された方へ）

あなたが地域活動に参加していない

理由はどれですか？（複数回答可）

❶きっかけがないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５.５％

❷時間がないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８.３％

❸関心のある活動がないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５.１％

❹地域活動の内容がよく分からないから・・・・・・・・・・・・・・２６.５％

❺面倒そうだから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９.０％

❻興味がないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５.６％

２５.５％

２８.３％

５.１％

２６.５％

９.０％

５.６％

０.０％

５.０％

１０.０％

１５.０％

２０.０％

２５.０％

３０.０％

（平成２８年度区民センター　アンケートより）

１日目

子どものいのちを守れるママになろう！

防災ママカフェ＠住之江

地域イベントが初めてのママ・パパも、地域で防災活動等を担っている皆さんもたくさん参加してくれました。

参加者数：１０６人

（子育て一般など４０人・地域３７人・乳幼児２９人）

　「防災ママカフェ」は、東日本大震災や熊本地震の被災地のママたちを支援するグループで活躍されている、かもんまゆさんを講師に、「ママが知れば、備えれば、守れるいのちがある」の合言葉で、全国で開催されているワークショップです。映像やスライドを使った「東北や熊本のママたちがあの日どうやって子どもを守ったか」、「地震が来る前にママとして知っておきたい子どもの命を守るためのリアルな情報などの内容」に、皆さん強く胸を打たれた様子で、真剣な表情で聞き入っていました。また、小さい子どもがいる場合を想定した防災リュックのサンプルにも関心が集まり、何が入っているのか手に取って確認されるなど、防災への備えの一助になったようです。

１００人を超えるママの声を集めた

ママのための防災ブック

「その時、ママがすることは？」

当日の参加者に配られました。

参加者の声から

●子どもを守るために「家具を固定する」「ガラス破片の上を歩けるようスリッパを用意しておく」などすぐにできることがあることがわかった。また、「食べなれない防災食は、小さい子どもは食べない。クッキーなど子どもがふだん食べているものを用意しておくこと」など、おおいに参考になりました。

●避難所に行くまで、まず自らの身を守るために必要な心構えや知識が得られました。

【広報さざんか２０１７年１２月号特集３面】

２日目

防災パーティー（仲間で考える）

参加者数：９５人

（子育て一般など３５人・地域３２人・乳幼児２８人）

　地域福祉が専門の甲南女子大学准教授の鈴木大介先生を講師に、普段地域とつながりがあまりない子育て中のママ達と、地域活動協議会の役員や防災を担当されている皆さんとが、同じテーブルで〝防災トーク〟。「はじめまして」の自己紹介をきっかけに、地域のお役立ち情報や避難所を運営する際に配慮してほしいことなど、和やかな雰囲気で会話が繰り広げられました。その後、防災食を実際に作って人数分に分け、試食。防災をきっかけに、地域の方と交流するひとときになりました。参加したママ達にとって地域活動に関心が高まるきっかけとなったようです。

【質問１】今日参加して地域や地域活動に

関心が高まりましたか？

❶関心が高まった・・・９０.９%

❷ふつう・・・・・・・・３.０%

❸それほどでも・・・・・６.１%

９０.９％

３.０％

６.１％

参加者の声から

●いつも子どもの登下校の見守りありがとうございます。もっと交流の機会がもてるといいなと思います。自分が知らなかった地域の活動を知れてよかったです。

●若いママさんと交流ができてよかったです。皆さん、若いのにしっかりされていますね。よい刺激になりました。活動の内容があまり知られていないようです。もっと発信していかないと、と思いました。

参加者インタビュー〜２日間を通じて〜

◆井上さん（中加賀屋にお住まい）

身近なテーマだったので参加

　小さい子どもがいますが、災害への備えを何から始めたらいいかわからなかったので、今回のテーマはとても身近でした。備えとして必要なことがわかり、大変参考になりました。

地域活動についてはもう少し情報があれば

　地域の方とお話できてよかったです。知らなかった地域情報も教えていただけました。地域行事などの活動についても普段からもう少し知る機会があれば、参加しやすくなるかなと思いました。

◆松崎会長（さざんか加賀屋協議会）

新たな視点が加わった

　地域で防災を考えるとき、これまでどうしても高齢者層への手助けが中心だった。今回参加して、乳幼児がいる家庭にどのように手助けできるのか、安心してもらえるのか、新たな視点で考えていくきっかけになりました。

コミュニティの大切さを伝えたい

　今回若い参加者と話してみて、町会など地域コミュニティのことがほとんど知られていないと改めて感じた。災害は自分一人ではどうすることもできない。普段のつながりが大切なので、もっともっと地域活動を知ってもらい、参加しやすいものにしていきたい。

この特集を“きっかけに”。

まずは参加してみませんか？

　今回ご紹介した防災に関する取組みの他にも、地域ごとに趣向を凝らしたお祭りなど、大勢が集い、楽しく気楽に参加できるもの、清掃活動など自分が参加できる範囲でまちがきれいになり地域貢献できる活動など参加しやすい活動はたくさんあります。

　お住まいの地域の会館や学校の校門周辺などにある地域の掲示板の存在にお気づきですか？地域の広報紙や行事ポスターが掲示されています。ぜひ、ご注目ください！

地域の掲示板にご注目！

きれいに貼られた地域行事のチラシなど